

自治会活動体験

地区自連・自治会 : 東原・さがみ野地区自治会連合会・芹沢北自治会
役員・理事 氏名 : 広報担当理事 山本 輝明

自治会活動で得られたこと

振り返りますと、自治会活動をしたことのない私が初めて地区の会長をやり、最初の一年は周りの人たちのアドバイスを受けながら、無我夢中で過ぎました。周囲の方々のアドバイスで役職が果たせたと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

『人間は人の中で育つ』と言われるますが、本当にそうだなと実感しました。自治会活動で一番印象に残っているのは、令和元年度の南中学校の避難所開設訓練です。幼い子が率先して頑張っている姿、大人と一緒に手伝っている子どもたちの姿を見た時に大きな感動を覚えました。小さい時から、非常時にどのような対応をすべきか関心を持ってもらえればと思います。災害時は、個人一人だけではどうすることもできないと思います。自分一人だけでは無力だと自覚することから始まると思います。日頃からいざという時、近くにいる人とどの様に連携をすれば被害を少なくできるかを考えておく必要があると思います。

自治会の避難所開設訓練を通して、日頃の備えの為に情報収集と訓練を始めてみてはいかがでしょうか！是非、一人でも多く避難所開設訓練に参加され、いざという時の為に役立てていただきたいと思います。



消火器の取扱訓練



避難所体験

地区自連・自治会 : 立野台地区自治会連合会・立野台西ノ原自治会
役員・理事 氏名 : 防災・防犯担当理事 伊藤 年三

地域と市自連体験について

自治会役員と市自連の理事等をやっていることで地域内の人達とも顔見知りとなって会話が出来る様になりました。

令和元年度防災研修会に参加し、初めてAED（自動体外式除細動器）の取扱いと実際に胸部を模した用具を用いて心肺蘇生法(胸骨圧迫)を体験しました。

地域では立野台公園でのお祭り、市民レクリエーション、どんど焼きなど広く活動が出来ます。特にどんど焼きを体験した事が良かったと思います。



AED 訓練



心肺蘇生訓練

地区自連・自治会 : 緑ヶ丘地区自治会連合会・緑ヶ丘南自治会
役員・理事 氏名 : 広報担当役員 森 繁

自治会役員になって

自治会活動の始めは組長が回ってきたことでした。それまでは自宅と会社の往復で地域との関わりは全くありませんでした。市民レク・防災訓練を手伝ううちに地域の人々と挨拶を交わすようになり、防災訓練で減災体験を受講してから自宅の家具のガラス戸に飛散フィルムを貼ったり、ブレーカー遮断用の器具を取り付けたりと減災対策を実施することができました。

これまでなら無関心だった行事にも関心が持てるようになり、いろいろと知識を得られ、地域の人とのつながりもできたように思います。

自治会長を2年経験して自治会に足りないことが少しずつ分かって、3年目に安全安心の為に各世帯の家族構成リストを整備して災害時の安否確認の基礎資料としました。また、高齢者への対応として年齢による組長免除の規約を作りました。



ブレーカー遮断装置



段ボール簡易トイレ作成